



令和 8 年 5 月 18 日

午前・午後 8 時 30 分 受領

議長	事務局長	係	令和 8 年 5 月 18 日

愛南町議会議長 吉田 茂生 殿

愛南町議会議員 金繁 典子

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

質 問 の 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
<p>1. 物価高、資材不足等による様々な事業、町民生活への影響と対策について</p> <p>中東情勢の影響による石油関連製品の価格の上昇や調達難が事業経営に深刻な影響を与えており、全国的にも愛媛県でも倒産件数・負債総額が前年度同期に比べて増加、今後も高い水準で続くと予想されています。</p> <p>愛南町においても、農業、漁業など第一次産業、建設業や製造業、運送業などさまざまな事業や、町民生活への影響も広がってきていると考えられます。</p> <p>そこで、物価高、資材不足による影響について、現状と対策をお聞きします。</p>	町長
<p>2. 漁業の担い手不足と就業支援について</p> <p>あらゆる分野で担い手不足が深刻な課題となっており、愛南町の地場産業である真珠養殖業においても「漁業者の高齢化、後継者不足などにより真珠産業の存続は危機的状況にある」と町も捉えています。</p> <p>昨年6月の議会でこの課題について質問し、町から</p>	町長

「新規就業者の積極的な確保及び育成を図り、真珠養殖産業の持続可能な発展を目指していく」との答弁をいただいていた。

そこで、その進捗状況等についてお聞きします。

(1) 国が漁業担い手確保・育成事業として、最長3年間、最大月28.2万円を支援する(長期研修独立型)など、就業希望者が経験ゼロからでも漁業に就業できるよう、漁業現場での漁労技術や経営のノウハウを習得する長期研修など、就業準備から就業・定着段階までの取組に様々な支援を行っている(「経営体育成総合支援事業」)が、現在、愛南町で就業する場合、この支援事業を利用できない状況である。課題と対策は。

(2) 国の支援事業に加えて、さらに県内の多くの自治体は独自に就業者への支援事業、例えば研修費、生活費、定住支援金、住宅支援金などの支給を行っている(宇和島市、伊方町、上島町、西予市など)。愛南町はこれらの支援事業を行っていない。その理由と課題は。

(3) 担い手不足の一つの解決策としての移住対策について、水産課など各課との完全な連携が取れていないというのが大きな課題とされていたが、その後の進捗状況、及び課題は。

(4) 愛南町が県と行う就業者支援事業として、漁具や燃料代などの資材購入費を補助する「新規就業者育成事業」があるが、その購入する資材は新品でなければならないか。既存の資材も対象とするための課題は。

3. 上槇山出及び僧都に巨大風車を新たに建設する計画について～土砂災害などの危険、地元や漁業者ら住民への説明、御荘湾を含む環境への影響と対策は

町長

現在、上槇山出の尾根に巨大風車を建設する計画が進んでいます。愛南町側には尾根の谷沿いの直下に山出の集落が位置しており、その上には崩壊土砂危険地区（土石流災害が発生する恐れのある溪流）があります。そのため、愛南町側に建設されると山出集落への土砂災害の危険や、水脈の変化、土砂流出による浄水場、湧水、農業用水への影響、その山の水が僧都川から御荘湾に注ぎ込み牡蠣や真珠養殖等に影響が出ることも心配されます。また、すでに僧都に建設されている巨大風車の増設（2基）は今回初めて尾根の稜線よりも愛南町側に建設されることが計画されており、地元から同様の心配の声を聞きます。

そこで、これらの山の尾根を削って風車を建設する危険性と住民への説明、対策などについてお聞きします。